

2023年度\_日舶工\_助成事業完了報告書\_  
国内で開催される国際海事展でのプログラム企画・実施

当会は、4月10日から12日まで東京ビックサイトで開催したSEA JAPAN 2024 展示会（1994年以来15回目）に、日本の海事クラスターがもつ高度な技術や研究成果等を世界に発信することを目的に、前回に引き続き（公財）日本財団の助成を受け、ジャパンパビリオンを設置し参加した。

本展示会の参加にあたっては、従来と同じく国土交通省海事局、海上保安庁の他、関連団体、関連企業より構成する「SEA JAPAN 2024 海事クラスター企画委員会（座長：国土交通省海事局船舶産業課 江頭博之舟艇室長）」を設け、企画・運営を行った。

今回は、「次世代へつなぐ新しい技術」をメインテーマに、カーボンニュートラルやDX・自動運航等の海事産業の最新トピックス等から成る9つのカテゴリで区分した「テーマゾーン」による展示を実施。本テーマゾーンに、当会の会員企業73社によるメンバーズゾーンを加えて、これまでで最大となる規模のジャパンパビリオンを形成した。

SEA JAPAN 2024 海事クラスター企画委員会では、テーマゾーンによる展示だけでなく、各種セミナーやイベントの企画も行い、今回は「国際海事セミナー」、「学生イベント」、「船舶海洋技術セミナー」、「海上保安庁測量船「平洋」の一般公開」を実施した。

「国際海事セミナー」は、展示会初日の4月10日に、オープニングセレモニーに続いて開催した。6年振りの開催となる本セミナーでは、シンガポール船主協会（Singapore Shipowners Association）と中国船舶工業行業協会（China Association of The National Shipbuilding Industry（CANSI））から講演者を招き、カーボンニュートラルをテーマにした講演を行い、446名が聴講した。

「学生イベント」は、日本造船工業会主催の「造船業界学生イベント」と当会主催の「舶用業界学生イベント」の2つを並行して実施。当会主催の「舶用業界学生イベント」は、4月11日から12日に亘り、学生に海事業界及び舶用工業について学んでもらうことを目的に、全国の10大学・高専より65名の学生と先生を招き、古野電気㈱及び三井E&S造船㈱の担当者による舶用技術に関する講演に続き、展示会場各ブースのスタンプラリー、測量船の船内見学、企業に在籍するOB・OG交流会（会員企業等17社より40名が参加）等を行った。

最終日の4月12日には、「船舶のGXとDXへのチャレンジ」をテーマに各社・機関のGXとDXに係る取り組みを紹介する「船舶海洋技術セミナー」を実施し、893名（午前の部664名、午後の部229名）が聴講した。これに加え、前回と同様に、海上保安庁の協力を得て大型測量船「平洋」の一般公開を行い、日本の最新の技術を集めた船舶の見学ができる機会を設け、前回は大きく上回る1,321名が見学した。

展示会場には過去最大となる29,983名の来場者が訪れ、セミナー会場は常に通路まで人が溢れており、展示会は3日間とも盛況のうちに幕を閉じた。

<SEA JAPAN 2024 海事クラスター企画委員会の概要>

座 長：国土交通省海事局船舶産業課舟艇室長

事 務 局：国土交通省海事局船舶産業課及び一般社団法人日本舶用工業会による共同事務局

委員構成：国土交通省 海事局 船舶産業課、海上保安庁、国立大学法人 東京大学、  
国立大学法人 東京海洋大学、国立大学法人 横浜国立大学、  
(国研)海上・港湾・航空技術研究所、(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC)、  
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、日本郵船(株)、(株)商船三井、川崎汽船(株)、  
川崎重工業(株)、三菱造船(株)、ジャパンマリンユナイテッド(株)、(株)新来島サノヤス造船、  
三井 E&S 造船(株)、(株)名村造船所、(一財)日本海事協会、(一財)日本船舶技術研究協会、  
(一財)日本造船技術センター、(一社)日本造船工業会、日本船舶輸出組合、  
(一社)日本中小型造船工業会、(一社)日本舶用工業会、  
インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)、(株)海事プレス社

検討事項：テーマゾーン、国際海事セミナー、船舶海洋技術セミナー、学生イベント、船舶の一般  
公開等の企画及び運営

開催日程：2023 年 4 月、2023 年 9 月、2024 年 1 月、2024 年 6 月（計 4 回）

## <展示会の概要>

会 期：令和6年4月10日(水)～12日(金) 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト 東1～3ホール

展示面積：25,530 m<sup>2</sup>【前回 17,020 m<sup>2</sup>】

来場者数：29,983名【前回 18,183名】

## <テーマゾーンの概要>

内 容：我が国海事クラスターの有する技術力を内外に発信するため、国交省、関連団体、大学、海運会社等で構成する「SEA JAPAN 2024 海事クラスター企画委員会」にて検討の上、我が国で研究・開発した製品・技術等について、下記テーマにカテゴライズして展示を実施

カテゴリ：①総合展示、②海運、③造船・エンジニアリング、④船級、⑤艦船、⑥内航・フェリー、⑦カーボンニュートラル、⑧DX・自動運航、⑨研究開発

メインテーマ：次世代へつなぐ新しい技術

展示面積：921.3 m<sup>2</sup>【前回 798.25 m<sup>2</sup>】

出展社数：52社・機関【前回 51社・機関】

### 1. 総合展示

国土交通省

### 2. 艦船

海上保安庁、防衛省 海上幕僚監部、防衛装備庁

### 3. 海運

日本郵船(株)、(株)商船三井、川崎汽船(株)

### 4. 造船・エンジニアリング

今治造船(株)、川崎重工業(株)、ジャパン マリンユナイテッド(株)、(株)新来島サノヤス造船、(株)名村造船所、日本シップヤード(株)、三井 E&S 造船(株)、三菱造船(株)、(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会

### 5. 内航・フェリー

(株)商船三井さんふらわあ、太平洋フェリー(株)、阪九フェリー(株)、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリー、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

### 6. 船級

(一財)日本海事協会

### 7. カーボンニュートラル

(一財)次世代環境船舶開発センター、(株)赤阪鐵工所、伊藤忠商事(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、ダイハツディーゼル(株)、ダイキン MR エンジニアリング(株)、阪神内燃機工業(株)、ボルカノ(株)、眞鍋造機(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、ヤンマーマリンインターナショナルアジア(株)、郵船商事(株)、Ammonia to Zero コンソーシアム(グリーンイノベーション基金)、メタンスリップ削減プロジェクト(グリーンイノベーション基金)

## 8. DX・自動運航

日本財団、東京計器(株)、(一社)日本船用工業会

## 9. 研究開発

神戸大学、東京大学、東京海洋大学、横浜国立大学、(独法)国立高等専門学校機構  
(国研)海洋研究開発機構、(国研)海上・港湾・航空技術研究所、  
(一財)日本船舶技術研究協会、(一財)日本造船技術センター

### <メンバーズゾーンの概要> ※参考(日本財団助成対象外)

展示面積：1,875 m<sup>2</sup>【前回 1,503 m<sup>2</sup>】

出展者数：73社【前回 64社】

出展者：(株)IHI 原動機、(株)相浦機械、伊吹工業(株)、(株)ウエイクフィールド、潮冷熱(株)、  
(株)宇津木計器、(株)ウッズ、EIZO(株)、(株)エヌワイ、(株)オーケーエム、ガイスリンガー(株)、  
(株)カシワテック、神奈川機器工業(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、極洋電機(株)、  
(株)ケーイーアイシステム、(株)高工社、(株)神戸機材、(株)小坂研究所、  
(株)サクシオン瓦斯機関製作所、(株)ササクラ、(株)サタケ、(株)サンフレム、JRCS(株)、  
JFE エンジニアリング(株)、島田燈器工業(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、  
(株)湘南工作所、(株)湘洋エンジニアリング、(株)シンコー、(株)関ヶ原製作所、セムコ(株)、  
ダイキン MR エンジニアリング(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、  
(株)中国電機サービス社、中国塗料(株)、中日輪船商事(株)、(株)帝国機械製作所、  
DEXIE Japan(株)、寺崎電気産業(株)、東京計器(株)、東京日進ジャバラ(株)、  
ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、  
(一財)日本気象協会、日本船用エレクトロニクス(株)、日本無線(株)、BEMAC(株)、  
(株)日阪製作所、(株)日立ニコトランスミッション、富士電機(株)、富士貿易(株)、ボッシュ(株)、  
ボルカノ(株)、眞鍋造機(株)、マリタイムレポーター、(株)ミズノマリン、(株)三井 E&S、  
三菱化工機(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ムサシノ機器(株)、(株)村山電機製作所、  
明陽電機(株)、山科精器(株)、(株)ヤマトメタル、ヤンマーパワーテクノロジー(株)、郵船商事(株)、  
横河電機(株)、(株)YDK テクノロジーズ

## <関連イベントの概要>

### 1. 国際海事セミナー

日 時：令和6年4月10日(水) 10:15-12:25

場 所：カンファレンスルーム

主 催：海事クラスター企画委員会

テ ー マ：カーボンニュートラル

聴講者数：446名【前回実施無し】

プログラム：

10:15～10:45	オープニングセレモニー
10:45～11:35 (50分)	シンガポールの脱炭素化に向けた取り組みと、シンガポール船主が目指す将来像について Singapore Shipowners Association President/Caroline Yang 氏
11:35～12:25 (50分)	中国造船業界における新燃料開発の現状、実績と展望 CANSI Secretary General/Li Yanqing 氏

### 2-1. 船用業界学生イベント

日 程：令和6年4月11日(木)～12日(金)

場 所：展示会場等各所

主 催：日本船用工業会

参加大学：東京海洋大学、芝浦工業大学、東海大学、大阪公立大学、神戸大学、兵庫県立大学、  
広島商船高等専門学校、鳥取大学、長崎大学、長崎総合科学大学

対象学年：原則として学部3年生～修士1年生(2024年4月現在)

参加人数：65名(学生56名、先生9名)【前回54名】

プログラム：

【4月11日(木)】

時間	実施概要	場所
11:30	受付開始	イベントステージ (展示会場内)
11:45-12:00	開会挨拶・船用業界の説明	
12:00-12:10	オリエンテーション	
12:10-13:00	講演 講演1：古野電気(株) 12:10-12:35 講演2：三井E&S造船(株) 12:35-13:00	
13:00-17:00	展示会場スタンプラリー及び測量船「平洋」の見学 ※「平洋」の見学は15:00-17:00の間で実施	展示会場及び 有明埠頭
17:30-19:30	OB・OG等との交流会	Eat IT! (会場内レストラン)

※4月12日(金)は終日展示会場スタンプラリー

## 2-2. 造船業界学生イベント

日 時：令和6年4月12日（金）14:00-18:15  
場 所：東京ビッグサイト・有明ワシントンホテル  
主 催：日本造船工業会

参加大学：東京大学、東京海洋大学、横浜国立大学、東海大学、大阪大学、大阪公立大学、神戸大学、  
広島大学、九州大学、長崎総合科学大学

対象学年：原則として学部3年生～修士1年生（2024年4月現在）

参加人数：49名（学生39名、先生10名）【前回52名】

プログラム：

### ①講演

タイトル：カーボンニュートラルに対する造船業の取り組みについて

講演者：会員企業の若手社員（川崎重工業 液化水素運搬船開発部・持田邦彦氏）

### ②展示会場の見学

### ③造船業界若手社員との交流会

## 3. 船舶海洋技術セミナー

日 時：令和6年4月12日（金）10:30～15:15  
場 所：カンファレンスルーム  
主 催：国土交通省、日本海事協会、日本船用工業会

テ ー マ：船舶のGXとDXへのチャレンジ

聴講者数：893名（午前の部664名、午後の部229名）【前回569名】

プログラム：

午前の部：10：30～12：20	
10：30～10：35 (5分)	開会挨拶 国土交通省 大臣官房技術審議官 今井 新氏
10：35～10：50 (15分)	船舶のグリーントランスフォーメーションに向けた国の取り組みについて 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課長 河合 崇氏
10：50～11：05 (15分)	日本財団ゼロエミッション船プロジェクトについて 公益財団法人 日本財団 海洋事業部 部長 木田 悟史氏
11：05～11：20 (15分)	舶用水素エンジンおよび燃料供給システムの開発（GI基金事業） 川崎重工業(株) エネルギーソリューション&マリコンパニー エネルギーディビジョン レジプロエンジン技術部 副部長 東田 正憲氏 (株) ジャパンエンジンコーポレーション 水素燃料エンジン開発推進室室長兼開発部部長 江戸 浩二氏 ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部開発部先行技術部部長 濱岡 俊次氏
11：20～11：35 (15分)	アンモニア燃料国産エンジン搭載船舶の開発（GI基金事業） 日本郵船(株) 燃料炭・アンモニアグループ グループ長 黒沢 敦彦氏

11：35～11：50 (15分)	アンモニア燃料船開発と社会実装の一体型プロジェクト (GI 基金事業) 伊藤忠商事(株) グリーン・イノベーション営業室 室長 赤松 健雄氏
11：50～12：05 (15分)	触媒とエンジン改良によるLNG燃料船からのメタンスリップ削減技術の開発 (GI 基金事業) ヤンマーパワーテクノロジー(株) 特機事業部開発部試験部部長 折野 和昭氏 日立造船(株) 脱炭素化事業本部脱炭素化システムビジネスユニット カーボンニュートラル触媒事業推進室室長 日数谷 進氏
12：05～12：20 (15分)	次世代船舶の社会実装に向けた安全性評価と基準策定に関する取り組み (一財)日本海事協会 技術部次長 西藤 浩一氏
《昼休憩 (約70分)》	
午後の部：13：30～15：15	
13：30～13：55 (25分)	共に拓く海運の未来：スマートナビゲーションシステム研究会の紹介 三井E&S造船(株) 事業開発部自律船グループ長主管 三好 晋太郎氏
13：55～14：10 (15分)	安全・安心な船内ネットワークを装備するために：ISO 16425のご紹介 BEMAC(株) 東京データラボチーフエキスパート 山田 隆志氏
14：10～14：25 (15分)	船上IoTデータ活用のためのデータ標準：ISO 19848のご紹介 寺崎電気産業(株) システム事業開発設計部開発設計2課課長 森本 峰行氏
14：25～14：40 (15分)	実海域データ共有のための船上データサーバ要件：ISO 19847のご紹介 ベニックソリューション(株) システム開発本部システム開発部部長 喜多 敏幸氏
14：40～14：55 (15分)	船陸間非同期データ通信規格：ISO 23807 (株)MTI 船舶物流技術グループ船舶物流IoTチームチーム長 橋本 仁氏
14：55～15：15 (20分)	ShipDCでのISO活用事例 (株)シップデータセンター 代表取締役社長 池田 靖弘氏

#### 4. 船舶の一般公開 ※参考 (日本財団助成対象外)

日 時：令和6年4月12日(金) 10:00-16:00  
場 所：東京港有明西埠頭 (東京ビッグサイト隣接の岸壁)  
主 催：海事クラスター企画委員会、インフォーマ マーケッツ ジャパン  
協 力：海上保安庁 測量船「平洋」  
参加者数：1,321名【前回550名】

以 上

<写真>

【オープニングセレモニー】



水嶋智国土交通審議官の開会挨拶

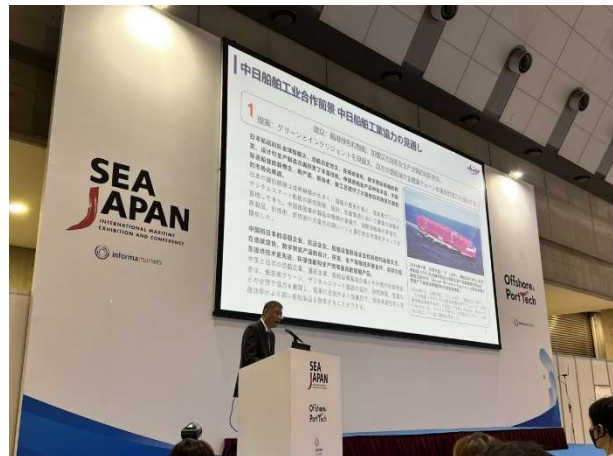


テープカット

【国際海事セミナー】



Caroline Yang 氏の講演



Li Yanqing 氏の講演

【水嶋国土交通審議官の展示会場ご視察】





【テーマゾーン】



SEA JAPAN 会場の様子



(独法) 国立高等専門学校機構



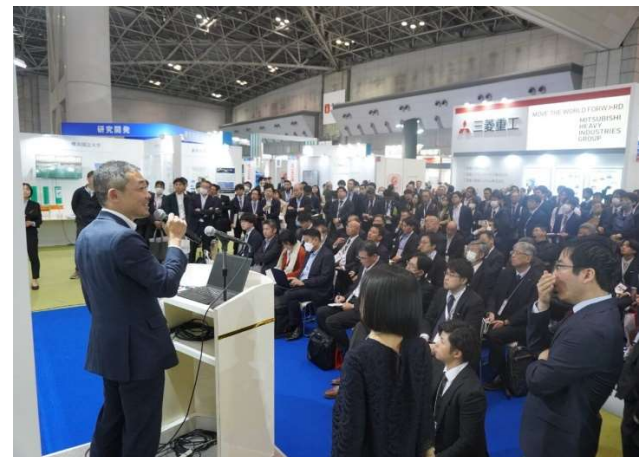
東京海洋大学



日本財団



ジャパンパビリオン案内所



プレゼンテーションルーム



【船用業界学生イベント】



オリエンテーション及び講演



OB・OG 等との交流会

【船舶海洋技術セミナー】



今井大臣官房技術審議官の開会挨拶



日本財団より木田氏の講演

【「平洋」の一般公開】



大型測量船「平洋」



船内見学



その他